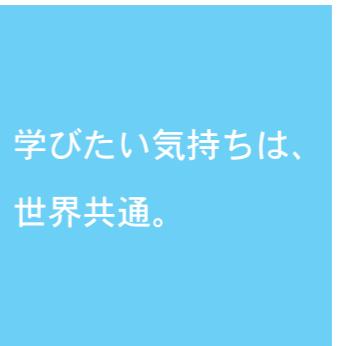




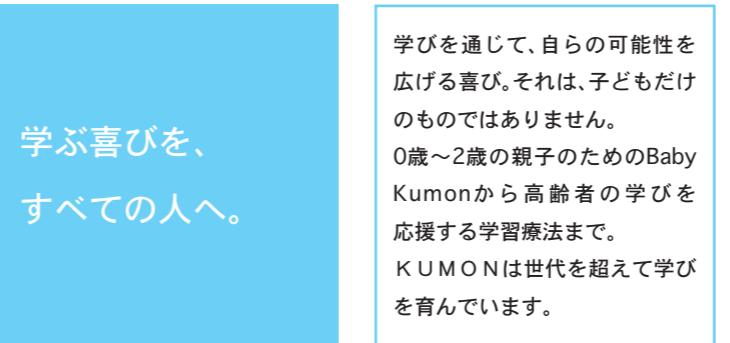
会社案内

教育が、世界を変える。

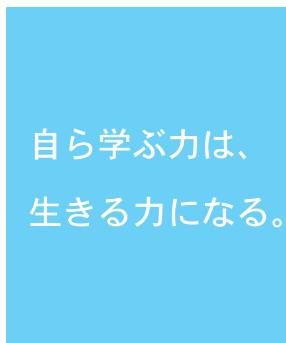
KUMONは、
そう信じています。



国境も文化も越えて受け入れられているKUMON。それは、個人別の学習法だから。学びたい、という気持ちに、もっと応えたい。いま、KUMONは50を超える国と地域に広がっています。



学びを通じて、自らの可能性を広げる喜び。それは、子どもだけのものではありません。0歳～2歳の親子のためのBaby Kumonから高齢者の学びを応援する学習療法まで。KUMONは世代を超えて学びを育んでいます。

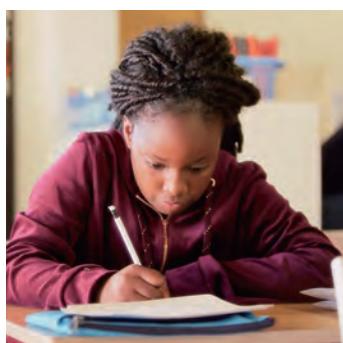


一人ひとりが持つ可能性を最大限に伸ばすこと。
それが、KUMONの使命です。
課題に立ち向かい、自分の力で解決する経験は、今後の人生の宝物になるはずです。



CONTENTS

Concept	KUMONの原点	2
	KUMONの育む力	4
	KUMONの特長(ちょうどの学習)	6
	KUMONの特長(スマール・ステップ)	8
	KUMONの特長(指導者の存在)	10
	KUMONのあゆみ	12
	KUMONの世界への広がり	14
	KUMONの世代の広がり	16
	KUMONの活動の広がり	18
Overview	トップメッセージ	20
	沿革	21
	会社概要	22



原 点

「学ぶ力」は、やがて、「生きる力」へ。
一組の親子の絆から生まれた、KUMON。

ひとりの父親の、わが子への愛情からはじまった公文式教育法。

半世紀以上が経ったいまも、その思想は脈々と受け継がれ、

多くの子どもたちの「学ぶ力」を育み続けています。



1954年 公文公が息子のために手づくりした教材。公文式教材の原型。

大切なのは、子どもの主体性を引き出す指導

きっかけは、一人の少年の算数の答案用紙でした。小学2年生の毅(たけし)少年のポケットから出てきた答案用紙を見た母親が、当時高校の数学教師をしていた夫、公文公(くもん とおる)に相談したのです。公文公はかねてから「子どもには大人が想像する以上の潜在的能力がある。子どもの可能性をできる限り引き出すこそが教育者の務めである」と考えていました。そのためには何よりも、子どもの主体性を引き出すことが大切であると感じていたのです。

そこで、わが子のために教材をつくるときも、本人が毎日無理なく続けることができ、かつ着実にレベルアップできるよう工夫を重ねました。高校で教鞭をとっていた公文公は、計算力がないために多くの高校生が数学の勉強で苦しんでいることを知っていたので、目標を計算力の養成に絞り込み、自学自習形式で学べる教材をつくりました。人から教わるのではなく、自分の力で解き進むことによってこそ本物の学力が身につくことを、自らの教育体験によって実感していましたからです。

自己肯定感が「学ぶ力」を育てる

ルーズリーフに書かれた、手づくりの計算問題。それが今日の公文式教材の原型です。毅少年は、父親の考案した教材による毎日30分の自習でみると力をつけ、小学6年生の頃には微分・積分を学習できるまでにいたりました。そこで、今度は近所の子どもたちを自宅に集め同じような方法で指導したところ、どの子の学力も目に見えて上がりはじめたのです。「この方法で、一人でも多くの子どもたちの可能性を伸ばしてあげたい」。1958年、公文公は大阪に事務局を開設し、

もっと多くの算数教室を開くことを決意しました。「自学自習で高校教材」を目標に掲げ、学年を越えたところを自習させることによって、一人ひとりの能力を伸ばす。公文式教育法の本格的な普及のはじまりでした。

子どもは本来、自分から伸びようとする力を秘めています。読み・書き・計算に取り組む過程で「やればできる」という自己肯定感を育み、「自ら学ぶ力」を育てていく。子どもたちが将来自己実現を成しとげ、どんな時代でも夢や目標に向かってチャレンジしていく力、すなわち「生きる力」を育てる。それがKUMONが考える教育です。父親のわが子への愛情から生まれたKUMONは、人から人へ、街から街へと広がり、今では言葉や文化・歴史の壁を越え、世界の国々に広がり続けています。



草創期の教室風景



公文 公(1914-1995)

1914年 高知県に生まれる。大阪帝国大学理学部数学科卒業後、高知県立海南中学校教諭として赴任。
1955年 大阪府守口市で公文式教材を使った初めての算数教室を開設。
1968年 33年間の教職生活にピリオドを打ち、大阪数学研究会の業務に専念。
1970年 有限会社大阪数学研究会代表取締役会長に就任。
1983年 株式会社公文教育研究会代表取締役会長に就任。
主な著書:『公文式算数の秘密』(廣済堂出版)、『やってみよう』(くもん出版)、『悪いのは子どもではない』(くもん出版)など多数。

公文 毅(1946-1997)

1946年 奈良県に生まれる。
1972年 神戸大学経済学部卒業後、野村證券株式会社勤務を経て、有限会社公文数学研究会入社。
1974年 同研究会・福岡事務局初代事務局長に就任。
1978年 有限会社公文数学研究会代表取締役社長に就任。
1983年 株式会社公文教育研究会代表取締役社長に就任。
主な著書:対話集『どんな人間がこの時代を生きぬくか』(河出書房新社)。

特長

ちょうどの学習

一人ひとりの可能性を、最大限に伸ばす。
公文式は、年齢や学年の枠にとらわれません。

子どもたちの「やればできる」という自己肯定感を育み、
未知の領域にも、自分から挑戦する力を培いたい。
公文式は、一人ひとりの「可能性の追求」をめざす教育です。



年齢や学年に合わせるのではなく、「子ども」に合わせた学習を。 「個人別・学力別学習」

公文式の教室には黒板がありません。同じ教室でも、たし算を学ぶ小学2年生もいれば、分数を学ぶ小学2年生もいる。公文式では、年齢別の一斉授業による同一カリキュラムでは飽き足らない子も、学校の授業が難しいと感じている子も、自分の能力を最大限に伸ばしていくよう、一人ひとりの学習の

習熟度に応じた「ちょうどの学習」を追求しています。公文式で学ぶ子どもたちは、その子が楽しく解けるところから学習を始め、常に自分の力にあった教材を自分のペースで解き進めることで、学ぶ楽しさやできる喜びを育みながら学力を高めます。



自ら進んで学ぶ力は、夢や目標を実現する力へ。 「自学自習で進む」

受け身ではなく、自分の力で課題に取り組んでこそ学習意欲が芽生え、さらに先に進もうとする向上心が生まれる。公文式は「自ら学ぶ力」を大切にしています。新しい課題の導入部には必要な解説や例題を設けるなど、自分の力で上の段階へスムーズに進んでいくための工夫もそのひとつ。

「ちょうど」の教材を一気に解くことで集中力をつけ、つまずいたところや時間がかかりすぎたところは、十分な練習をする。解き方や答えを教え込まれるのではなく、答えを自分で導き出していく力は、やがて夢や目標を実現する力になっていきます。



特長

スモール・ステップ

一歩一歩、確実にステップアップ。
一人ひとりの「成長の過程」を大切にしたい。

公文式の教材は、子どもの「学ぶ力」を引き出すために、
誰もが自分の力で進めていけるようにきめ細かいステップで構成。
一人ひとりが自然に伸びていける「学び」があります。

小さな進歩が、大きな成果へ。
無理せず、自分の力で進めていける教材を。

「スモール・ステップの教材」

公文式のすべての教材は、やさしい問題から高度な問題へ、非常にきめ細かい「スモール・ステップ」で構成されています。そのため、常に一人ひとりに合った「ちょうどの学習」を通じ、自分自身の力で少しずつ着実にステップアップしていくことができるのです。多くの子どもにとって難しい箇所があれば、生徒の学習情報の分析や指導者からの報告をもとに、内容を随時検討して教材そのものを改善していきます。公文式の教材を進化させているのは、ほかならぬその教材を学習している子どもたち自身なのです。



- C 九九、基本的なかけ算・わり算
- B たし算、ひき算(筆算)
- A たし算、ひき算(暗算)
- 2A たし算の基礎(暗算)
- 3A 120までのすうじの書き、たし算の導入
- 4A すうじの練習、50までのすうじの書き
- 5A 50までのすうじの読み
- 6A 10までのすうじの読み
(2020年7月現在)



国や言語が変わっても、
教材はスモール・ステップ。

現在世界各地で使用されているKUMONの教材。母国語教材として、英語やスペイン語、ポルトガル語、中国語なども学習されています。もちろん、そのすべてが、スモール・ステップの教材。あらゆる国の子どもたちが、無理なくスムーズに学習を進めていけるような構成です。さらに、教室現場からのフィードバックにより、子どもたちがもっと学習しやすい教材へと、日々、進化を続けています。



特長 指導者の存在

一人ひとりの可能性を引き出すために。

KUMONは、子どもたちから学ぶ集団です。

教えるのではなく、「自分でできた」に導く。

KUMONの指導者は、子どもの「できること」を見つけ、可能性を追求するプロフェッショナルです。

子どもが、自分の力で伸びていくために。

「指導者の役割」

公文式教室の指導者は、問題の答えや解き方をすぐに教えることはありません。問題を解くのは、子ども自身の力。「その子のできること」を見つけて、潜んでいる可能性を引き出す存在。それが公文式の指導者です。子どもたち一人ひとりとしっかりと向き合い、その子の学力や個性・気持ちをきちんと把握したうえで、「ちょうどの学習」ができるようサポートすること。ほかの誰かと比較するのではなく、その子自身の成長を認め、ほめ、励ましていくこと。さらには保護者の方の相談に乗り、一緒になって子どもを見守っていくこと。子どもたちの成長を心から願う多くの指導者の存在があるからこそ、公文式は効果を発揮することができるのです。



子どもを観察し、「自分でできた！」に導く

学習中の子どもの様子を観察し、必要に応じてヒントやアドバイスを与えます。また、教材を解き終わった子どもたちの答案を採点します。間違いは、すぐに解き方や答えを教えるのではなく、ヒントを与えて、間違えた箇所や理由を、その子ども自身が発見できるように促します。

出発点を定め、見通しを立てる

入会時に行う学力診断テストの結果を参考に、その子が学習する「楽しさ」を実感できるよう、確実に100点を取れる段階の教材を学習の出発点に定めます。そしてその出発点から、いつまでに、どこまで伸ばすか、一人ひとりに適切な見通しを立てるところからスタートします。

自分の力で進める教材を判断する

成績表の記録や解答済みの教材、学習中の観察をもとに、その子が自分の力で進んでいけると判断した教材を用意します。新しいステップの教材に進んだ子や最近学習ペースが落ちている子などには、学習前に声をかけて、その日の学習のしかたや課題についてアドバイスします。



認め、ほめ、励ます

学習終了後は、その日の学習結果を確認して、ほめたり、励ましたり、学習意欲を高めるように子どもとコミュニケーションをとります。そして、家庭で学習する教材を渡し、家庭での学習についてアドバイスします。



保護者とともに子どもを伸ばす

指導者は、保護者との日常のコミュニケーションや個別面談で、家庭学習の様子や課題を知り、また学習状況だけでなく将来にわたっての学習計画をわかりやすく伝えることで、保護者と一緒にその子どもの可能性を広げ、能力を伸ばしていきます。

学習の進め方を検討する

学習者の学習状況を成績表に記録し、その子どもが次にどう進んでいくべきか検討します。入会時に立てた学習の見通しについても、定期的に点検を行い、必要に応じて修正したり、指導のしかたを工夫します。



よりよい指導法を追求し、研鑽に励むKUMONの指導者

指導者は子どもたち一人ひとりの可能性を引き出すため、日々、研鑽に励んでいます。また、指導者が互いに学び合う研究大会が、地域・国単位のみならず世界規模でも行われています。このような学びを通してKUMONの教材や指導法は深化し続けているのです。



あ ゆ み

時を越えて。国境を越えて。

すべては、一人ひとりのために。

「学び」を通じて一人ひとりの可能性を引き出したい。

小さな算数教室から生まれたKUMONの想いは、

世界中の国々で大きく花開いています。



世界への広がり

KUMONは、世界の共通語。

50を超える国と地域に、「学び」を届けています。

親が子どもを想う気持ちは、万国共通。

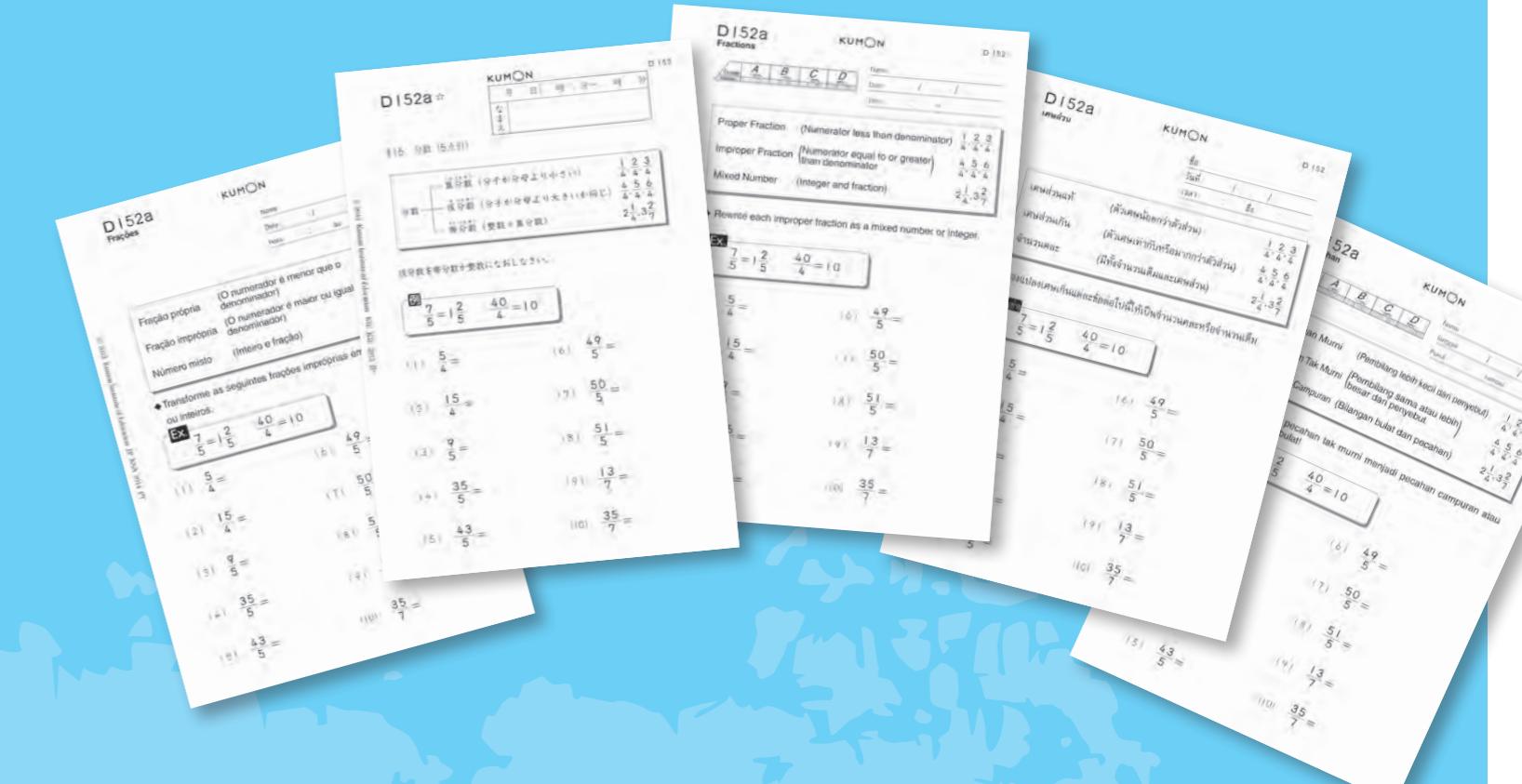
一組の親子からはじまった公文式だからこそ、
国境を越えて受け入れられています。

個人別・学力別学習だからこそ、
世界で受け入れられる。

「教育は個人別・能力別に行われるべきである」という公文公の信念
から生まれた公文式学習。そして半世紀以上、経験や知恵を積み
重ねてきたKUMONの個人別・学力別学習に国境はありません。「学び
の根幹となる基礎学力を育てる」と目的とし、その学習効果が認知
されてきたことで、文化や価値観、教育システムが異なる国や地域でも
受け入れられています。

公文式学習法のメソッドは、
世界共通。

KUMONが世界に広がったもう一つの理由は、その独自のメソッド
にあります。子どもの能力に合わせて確実なステップアップを図る
スマール・ステップの教材は、世界共通です。紙と鉛筆さえあれば
どんな国でもできる、普遍的な教育法だからこそ、たとえ国が
変わっても、変わることのない高い学習効果を発揮できるのです。



ヨーロッパ

18カ国

アイルランド・アンドラ・イギリス・イタリア
オーストリア・オランダ・ギリシャ・スイス・スペイン
ドイツ・ハンガリー・フランス・ブルガリア・ベルギー
ポーランド・ポルトガル・ルーマニア・ルクセンブルク

中東

3カ国

カタール・バーレーン・U.A.E.

アフリカ

5カ国

ケニア・ザンビア・ナミビア・ボツワナ・南アフリカ



北米

4カ国

アメリカ・カナダ・パナマ・メキシコ



アジア

18カ国・地域

インド・インドネシア・韓国・カンボジア・シンガポール
スリランカ・タイ・中国・日本・バングラデシュ
フィリピン・ブルネイ・ベトナム・マレーシア
ミャンマー・台湾・香港・マカオ



オセアニア

2カ国

オーストラリア・ニュージーランド



南米

7カ国

アルゼンチン・ウルグアイ・コロンビア・チリ
ブラジル・ペルー・ボリビア



(2021年3月現在)

世代の広がり

子どもから、高齢者まで。

生涯を通じて、学ぶ喜びを届けたい。

学びを通じて能力を伸ばす喜びは、子どもだけのものではありません。

KUMONは、自らの可能性を広げ、豊かな人生を願うすべての人のために、

学びを軸とした地域コミュニティを創造し、地域社会に貢献します。

乳幼児



大切な親子のきずなを、「ことば」の力で育みたい。

Baby Kumon

0~2歳の親子のためのBaby Kumon。「親子のきずなを育み、伸びる子どもの土台をつくる」をコンセプトに、歌や読み聞かせを中心とした「ことばのやりとり」を楽しめるようサポートします。

多様な学力に対応できる
公文式を、学校現場へ。

学校での公文式

生徒の多様性が広がるなか、学力や学習姿勢・意欲の格差に悩む学校現場からの「公文式を活用したい」とのご要望を受け、導入。その効果が実感されるようになってきています。



健やかで心豊かなくらしを送る、
高齢社会に貢献する。

学習療法センター

学習療法

脳機能の維持・改善を目的とする学習療法に取り組むのは認知症高齢者の方々。学習療法は、ご高齢者がその人らしく、いきいきとした生活を送れるよう介護施設などで活用されています。

脳の健康教室

脳の健康促進を図り、認知症予防をめざす教室。自治体やNPOなどが主催者となり、地域の方々が学習をサポートします。「読み書き」「計算」「コミュニケーション」を中心とした学びを通して、仲間づくりや世代間交流を促進し、地域コミュニティに貢献しています。



高齢者専用教材

たとえば、「読み書き」では読みやすい大きな活字とわかりやすいイラストを用い、高齢者が学習しやすい教材を使用しています。

高齢者

生涯 学習



書写を通じて、
学び続ける楽しさを伝えたい。

(株)公文エルアイエル

手書き文字の上達をサポートする、公文の書写教室。手書き文字の素晴らしさが見直されている今、「心」を伝える手書き文字の良さ、年齢を問わず学ぶことのすばらしさを多くの人に伝えています。幼児から高齢者まで世代を超えた学習者が通う教室は、互いの存在を認め、高め合う地域交流の場になっています。



暮らしの中で効果を実感できる教材

基礎・基本から小刻みに段階を踏みながら着実にステップアップできる教材は、日常生活の中できらせる書写力の養成を目的としています。

外国語学習で、より広い視野を育む。

フランス語・ドイツ語

「公文式学習法であれば、フランス語・ドイツ語であっても、誰でもできるようになる」という考えから生まれた教材です。初心者、経験者に関わらず、フランス語・ドイツ語に関心を持った幼児・小学生から、大学生・社会人までが学習しています。公文式算数・数学・英語・国語で高い学力を身につけた生徒たちの更なる能力開発にも貢献しています。

書籍や知育玩具を通して、
子どもの可能性を引き出す。

(株)くもん出版

ドリル、カード、絵本・児童書などの出版物や知育玩具の開発・販売を展開するくもん出版。子どもたちの学ぶ力を引き出す出版物や教育関連商品を通して、子どもたちの未来に貢献することを使命としています。教室現場で検証を重ねたその商品は、一般市場でも高い評価を得ています。



国際化が進む地域のために 日本語教育という貢献を。

日本語

外国人のための、KUMONの日本語教育。英語版・ポルトガル語版・中国語版の教材を活用し、出身国や年齢層もさまざまな生徒が「自学自習」で日本語を学んでいます。グローバルな交流が進む今、日本各地で需要が高まっています。

より多くの方々に学ぶ喜び、
成長する喜びを。

施設での公文式

公文式による児童養護施設での学習支援は、創立間もない頃から始まりました。現在は、児童福祉施設のほか、障害児・障害者のための放課後等デイサービス、就労移行支援施設等の施設で導入。学習者の自立支援に活用されています。学習を通じて得られる学力の向上と態度面の変化は生活能力や社会性の向上にもつながっています。



活動の広がり

誰にでも学ぶ喜び、できるうれしさ。

障害児・障害者教育

ASD(自閉スペクトラム症)、知的障害、ダウン症、LD(学習障害)、ADHD(注意欠如・多動症)、身体障害など、どんな障害があってもできることは必ずあります。そこから、一人ひとりの能力に合わせた公文式の「ちょうど」の学習で、“ことば”“かず”的力を伸ばし、知的能力の発達を促す。これは公文式の指導法と教材だからこそ可能な教育です。

日本国内では、何千人の障害のある方が公文の教材で学んでいます。



『つくしんば のびた』(くもん出版刊)
各地から寄せられた指導実践・学習の
軌跡をまとめた書籍。

江戸の子ども文化を通じて、現代にメッセージを。

「くもん子ども浮世絵」コレクション

KUMONは、文献だけでは知ることのできない江戸時代の子どもの生活や子育ての様子を生き生きと描いた「子ども浮世絵」をはじめ、絵巻や屏風、寺子屋で使われた教科書「往来物」や玩具など、貴重な子ども文化史料を3,200点所蔵しています。これらの史料から浮かび上がる子どもたちの学びや遊びの様子、「子宝思想」と呼ばれる子どもを大切に育てる江戸社会のあり方は、現代の教育や子どもを取り巻く環境を考える大きなヒントになります。KUMONはこれらの史料の公開と活用を通じ、社会全体で子どものよりよい未来を考えるきっかけづくりを進めています。



「くもん子ども浮世絵ミュージアム」公開中
<https://www.kumon-ukiyo-e.jp/>

英語を道具に世界を感じ、地球社会に貢献できる人に！

English Immersion Activities

英語で世界を感じ、地球社会に貢献できる人材を育むために。世界各国出身のリーダーとの時間を通して、子ども達が多様性への理解を深め、地球規模の視野をもつことを目指しています。



「ことばで育む親子のきずなづくり」を広めたい。

子育て応援活動

歌や読み聞かせを通した「ことばで育む親子のきずな」を、地域のより多くの子育て中の方々にお伝えするために、KUMONは歌や絵本の情報満載の記録サイト「mi:te(ミーテ)」の運営、大学との共同研究などに取り組んでいます。



『mi:te(ミーテ)』
<https://mi-te.kumon.ne.jp/>

歌と読書に親しみ、豊かな心の成長を。

協賛活動

親と子のきずなとしての童謡を大切に歌い継いでいってほしいと願って1986年から開催されている「童謡こどもの歌コンクール」。物語の創作を通して子どもたちにもっと物語を読むことの楽しさを体験してほしいという想いから2000年子ども読書年に創設された「おはなしエンジェル—子ども創作コンクール」。歌や読書を通じた子どもたちの心の成長を後押しするため、KUMONはこれらの活動をサポートしています。



「童謡こどもの歌コンクール」



入賞作品を絵本化した
『一日だけうさぎ』(くもん出版刊)

グローバル人材の育成をめざした小中高生向けTOEFL® TOEFL Primary®、TOEFL Junior®の広がり

グローバル・コミュニケーション&テスティングは、2011年より小中高生向けTOEFL®のテスト普及・運営を行っています。TOEFL Primary®やTOEFL Junior®はTOEFL iBT®へとレベルアップしていく英語運用能力テストであり、世界基準で自分の英語力を測れるテストとして、さらなる広がりを見せていました。受験結果は合否判定ではなくスコアで表されるため、学習の目標が立てやすく、継続的に力の伸びを把握することができます。



Overview

「公文式教育を通じて地球社会の課題解決にグローバルに貢献する」

KUMONは創立以来、子どもたちに、高い学力のみならず、自ら学んでいく力を身につけてほしいとの思いで、実践を積み重ねてまいりました。目の前の学習者一人ひとりの可能性を信じ、その能力を最大限に引き出すために、その子にとっての「ちょうど」を見つけ、最適な教材を与え指導していく。一人の父親がわが子のために考案したこの公文式学習法は、今や世界50を超える国と地域に広がっています。

私たちが提供できる価値の真髄は、生涯にわたって役立つ「自習する態度と方法」です。これまで学習したことのない未知の課題に取り組む中で、子どもたちの集中力や挑戦心、粘り強さとともに、「やればできる」の自己肯定感を育みます。目の前にあるプリントの課題を解く能力と経験が、将来、すぐに解答の見つからない問題に取り組むとき、大いに役立つです。

この公文式学習を可能にしているのが、一人ひとりの学習者の「ちょうど」を見極める指導者の存在と、誰もが自分の力で進めていけるようにきめ細かいステップで構成された公文式の教材です。この二つが組み合わさることで、「ちょうど」の学習が可能となり、年齢や学年に関わらずすべての子どもたちが、公文式学習を通して、高い学力とともに自習する態度と方法を身につけていくことができます。

公文式の考え方と実践は、現在では、乳幼児から高齢者の方々まで世代を越えて様々な方に支持されています。人生100年時代と言われる中で、生涯を通した学びにも応えられる公文式教育に対する世の中の期待も感じます。KUMONは、今後とも実践を積み重ね、学習者から学び続けることで公文式を磨き、よりいっそう世の中に貢献できるように努力を重ねてまいります。

2020年、世界は新型コロナウイルス感染症の脅威に直面し、日常生活が一変しました。コロナ以降の世界に生きる子どもたちは、大きな環境変化の中で困難な局面に立たされることも出てくるでしょう。変化の大きい、予測できない時代だからこそKUMONにできことがあります。一つは子どもたちに前に進む意欲と力をつけて背中を押してあげること、もう一つは社会的な課題解決に貢献することです。

国連は、世界の貧困をなくし持続可能な世界を実現するために、「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げましたが、その4番目に「質の高い教育をみんなに」があります。教育は持続可能な世界を実現するために重要な課題の一つです。KUMONは学習者の持つ可能性を最大限に伸ばす公文式教育を実践してまいりましたが、KUMONのこの教育活動は、「質の高い教育をみんなに」の実践例だと自負しております。

一方、世界には私たちKUMONの力だけでは公文式学習を届けられない層の子どもたちがいます。また、教育に力を入れることが難しい環境に置かれている国や地域もあります。SDGsの17番目には、「パートナーシップで目標を達成しよう」があります。教育格差という社会的課題の解決に少しでも貢献するために、私たちは信頼できるパートナーと連携して公文式を提供ていきたいと願っています。

よりよい教育が希求される今、私たちは自らの責任と使命を心に刻み、公文式教育を通じて、目の前の一人ひとりの子どもたちの自立を後押しするとともに、地球社会が抱える課題解決にもグローバルに貢献することができるよう、日々邁進してまいります。KUMONに対するますますのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



株式会社 公文教育研究会
代表取締役社長

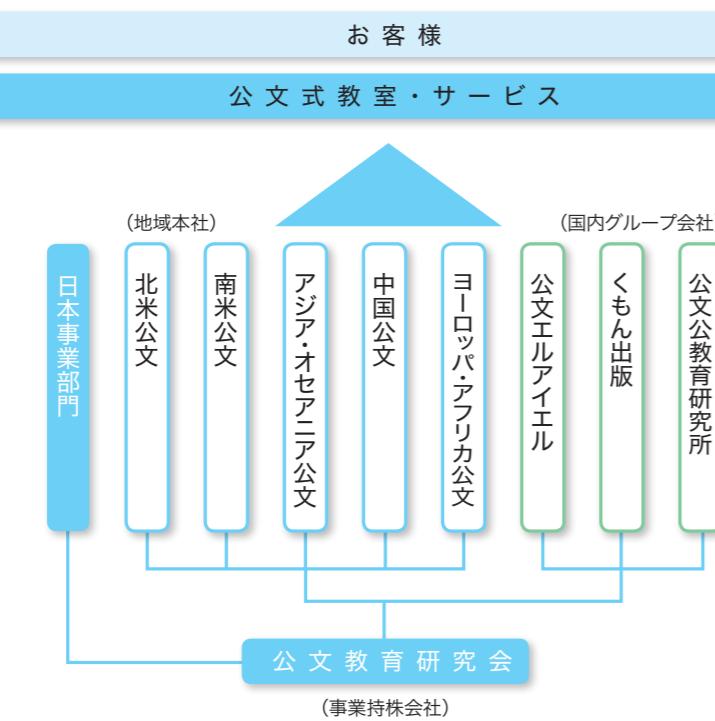
池上秀徳



沿革

1954年	●公文公が小学2年生の長男のために計算問題をルーズリーフに書き、自習形式の学習を開始(公文式の原型)	1994年	●ポルトガル語母国語教材、ブラジルで使用開始
1955年	●大阪府守口市に、公文式教材を使用した算数教室を開設	1995年	●創始者 公文 公永眠 ●シンガポールに現地法人設立 ●チリ サンティアゴに現地法人設立 ●メキシコ メキシコシティに現地法人設立 ●中国 上海に現地法人設立
1958年	●大阪数学研究会創立	1996年	●(株)公文エルアイエル(公文書写)設立 ●南アフリカ ヨハネスブルグに現地法人設立 ●フィリピン マニラに現地法人設立
1962年	●(有)大阪数学研究会設立 ●東京で第一号教室を新宿区に開設	1997年	●公文 毅永眠 ●マレーシア クアラルンプールにオフィスを開設
1963年	●東京事務局開設	1998年	●タイ バンコクに現地法人設立 40周年 ●アルゼンチン ブエノスアイレスに現地法人設立
1972年	●(有)大阪数学研究会を(有)大阪公文数学研究会に社名変更、(有)東京公文数学研究会設立	2000年	●インドネシア ジャカルタに現地法人設立 ●グループ経営体制へ移行 ●(株)公文公教育研究所設立
1974年	●海外(ニューヨーク)で初めて算数教室を開設 ●『公文式算数の秘密』(廣済堂出版)がベストセラーとなる	2001年	●第一回世界リーダー研修開催 ●第一回English Immersion Camp開催 ●産官学による学習療法の実践研究がスタート ●新KUMONロゴ誕生
1975年	●台湾に教室を開設	2003年	●KUMON看板一斉架け替え 45周年
1977年	●幼児向けドリル刊行開始	2004年	●EFL(外国語としての英語)教材、ブラジルで使用開始 ●スペイン語母国語教材、南米5カ国で使用開始 ●インド ニューデリーに現地法人設立 ●コロンビア ボゴタに現地法人設立
1979年	●第一回全国公文指導者研究大会開催	2005年	●CFL(外国語としての中国語)教材、韓国で使用開始 ●中国 広州に現地法人設立
1980年	●英語教室スタート ●ブラジル サンパウロに現地法人設立 ●ドイツ デュッセルドルフに現地法人設立	2006年	●ベトナム ホーチミンに現地法人設立
1981年	●国語教室スタート ●第一回公文障害児指導研究大会開催 ●(有)大阪公文数学研究会、(有)東京公文数学研究会をそれぞれ株式会社に組織変更	2008年	●タイ語母国語教材、タイで使用開始 50周年
1982年	●アメリカ ロサンゼルスに現地法人設立 ●(株)大阪公文数学研究会と(株)東京公文数学研究会が合併し、(株)公文数学研究会となる	2010年	●大学向け教育サービスの事業化スタート
1983年	●(株)公文数学研究会より(株)公文教育研究会に社名変更 25周年	2011年	●TOEFL Junior®の普及・運営を開始 ●中国 北京に現地法人設立
1984年	●オーストラリア シドニーに現地法人設立 ●日本語教室スタート	2012年	●Baby Kumon スタート
1985年	●ペン習字教室スタート	2014年	●公文 公生誕100年 ●TOEFL Primary®の普及・運営を開始
1986年	●フランス語教室・ドイツ語教室スタート	2018年	●マカオに現地法人設立 60周年
1988年	●(株)くもん出版設立 ●香港に現地法人設立 ●カナダ トロントに現地法人設立 ●アメリカの公立小学校に、公文式算数が導入される		
1990年	●英語母国語教材、オーストラリアで使用開始 ●イギリス ロンドンに現地法人設立		
1991年	●スペイン マドリードに現地法人設立		
1993年	●中国語母国語教材、台湾で使用開始 35周年		

KUMONグループ組織図(略図)



株式会社 公文教育研究会

代表取締役社長： 池上 秀徳
所在地： 大阪／〒532-8511
大阪府大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 公文教育会館
東京／〒108-0074
東京都港区高輪4丁目10番18号 京急第1ビル12階
創立： 1958年7月(昭和33年)
設立： 1962年8月(昭和37年)
資本金： 44億18百万円(2021年3月決算)
連結売上高： 724億57百万円(2021年3月決算)
連結経常利益： 40億58百万円(2021年3月決算)
拠点数： 国内55カ所、海外93カ所(2021年8月現在)
従業員： 4,091人(KUMONグループ全体)(2021年3月現在)
URL： <https://www.kumon.ne.jp>



■教育事業関連データ (2021年3月現在)

<国内>		<海外>		<展開国数>	
学習者数	141万	学習者数	231万	世界57の国と地域(日本含む)	
教室数	1万5,800教室	教室数	8,600教室		
教室指導者数	1万4,200人	教室指導者数	8,300人		

※学習者数は全教科合計学習者数

地域本社

● 北米公文

社名 : Kumon North America, Inc.
所在地 : 55 Challenger Road, Suite 300
Ridgefield Park, NJ 07660, U.S.A.
代表取締役社長 : 田邊 稔
URL : <https://www.kumon.com>

● アジア・オセアニア公文

社名 : Kumon Asia & Oceania Pte. Ltd.
所在地 : 30 Cecil Street
#29-01 Prudential Tower
049712 Singapore
代表取締役社長 : 前田 稔
URL : <https://kao.kumonglobal.com>

● ヨーロッパ・アフリカ公文

社名 : Kumon Europe & Africa Ltd.
所在地 : 4th Floor West, Ealing Cross
85 Uxbridge Road, Ealing
London, W5 5TH U.K.
代表取締役社長 : 清水 正宏
URL : <https://www.kumon.co.uk>

● 南米公文

社名 : Kumon América do Sul
Instituto de Educação Ltda.
所在地 : Rua Tomás Carvalhal, 686
Paraíso, CEP 04006-002
São Paulo, SP, Brasil
代表取締役社長 : 渡部 一徳
URL : <https://www.kumon.com.br>

● 中国公文

社名 : Kumon China Co., Ltd.
所在地 : Units 3403-3408, 34/F, Chubb Tower,
Windsor House, No. 311
Gloucester Road, Causeway Bay
Hong Kong
代表取締役社長 : 佐々木 雅一
URL : <https://www.kumon.com.cn>

国内グループ会社・会社概要

(株)くもん出版

1980年に公文教育研究会の出版部門として発足し、1988年に独立。ドリル、カード、絵本・児童書などの出版物や知育玩具の開発・販売を通して、子どもたちの成長をバックアップしている。



(株)公文エルアイエル

1985年に公文教育研究会の新規事業部門として発足し、1996年に独立。生涯学習を事業テーマに多くの人が「書写」を通じて学ぶ喜びを知り、心豊かな人生を過ごせるよう支援している。幼児から高齢者まで、世代を超えた幅広い年代の支持を得ている。

■所在地: 東京都港区高輪4丁目10番18号
京急第1ビル
■設立: 1988年2月(昭和63年)
■資本金: 1億円
■代表取締役社長: 志村 直人
■URL: <https://www.kumonshuppan.com>



創始者 公文公が設立した、学校法人公文学園

のびてゆく幼稚園

■開園: 1982年4月
■所在地: 大阪府高槻市黄金の里1-3-1



公文国際学園

■開校: 1993年4月(中等部)、1996年4月(高等部)
■所在地: 神奈川県横浜市戸塚区小雀町777



スイス公文学園高等部

Kumon Leysin Academy of Switzerland
■開校: 1990年5月
■所在地: Route de Versmont 6, CH-1854 Leysin, Switzerland



私たちには「夢」があります。
教育を通じて世界平和に貢献することです。
私たちは、個人別教育による人材の育成を通じて、
その夢の実現に向かってまいります。

「Mission」と「Vision」、そしてそれらを実践するための行動指針となる
「Value」。私たちはこの3つを共有することで、地球社会の一員として、
子どもたちの成長と幸せに貢献していきます。

Mission

公文の理念

われわれは
個々の人間に与えられている可能性を発見し
その能力を最大限に伸ばすことにより
健全にして有能な人材の育成をはかり
地球社会に貢献する

Vision

世界のあらゆる国と地域で、
KUMONメソッドで学ぶ機会を提供し、
学習者が夢や目標に向かって
自分から学習している状態を目指す

KUMON

THINKING FACE。それは、教室で学び、考え、成長する
子どもたちの顔であり、同時に、子どもたちのことを考え、
成長し続けるKUMONの先生、社員の顔でもあります。
「どうしたらこの子を伸ばしてあげられるか」KUMONに
関わるすべての人は、真剣に教育について考え、子どもたち
に学び、ともに成長したいと願い、実践にうつしています。
KUMONブルーは、知性、誠実さ、そして世界につながる
大空の色。世界が一つに結ばれ、子どもたちの未来が
大きく広がるように、そして、教育について世界中の人
がさらに真剣に考えるようになるという願いも託しています。

Value

THE KUMON WAY

わたしたちが大切にするもの

わたしたちが一番大切にするもの、それは「子どもたち一人ひとり」です。

「すべての公文式学習がその子の成長と将来に向け必ず役に立つ学習経験であること」
「ひとりでも多くの子どもたちに公文式で学ぶ機会を提供すること」
わたしたちは、この二つを
常に、心の真ん中に置いてすべての活動に臨みます。
それは公文式が存在し発展する唯一の「理由」であり子どもたちへの「責任」でもあると思います。
もし、道の途中で迷ったり意見が分かれても
「本当にこれが子どもたちのためになるのだろうか」
必ずそう自分に問いかげ、互いに進むべき方向を確認し合いながら
もっとこの教育法の価値を高め
ひとりでも多くの子どもたちに公文式で学んでもらうために
全力で取り組みます。



次に大切にするもの、それは「志を同じくし共に歩む人たち」です。

わたしたちは、
公文式教室の先生方をはじめ
「子どもたちを大切に想い、共に教育を通じて社会貢献に携わっていただける人たち」
そのすべての人に対して最大の敬意をはらいいます。
そして心からの感謝と親しみを持ち、
「全力の支援」と「一体となった活動」を
大切にします。



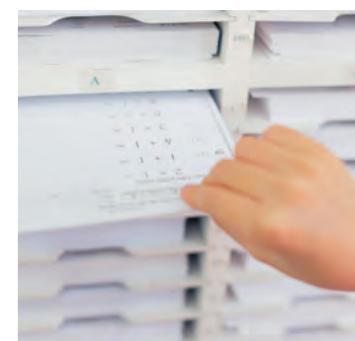
次に大切にするもの、それは「すべての社員」です。

わたしたちはすべての社員が安心できる生活を保証され、適切な待遇を受けながら
使命感とやりがいを持っていきいきと仕事に取り組み、日々成長していくような
風土と環境作りに努力することを大切にします。



次に大切にするもの、それは「地域社会との関わり」です。

わたしたちは日々生活し活動する地域社会に感謝し
よき「企業市民」として
自然環境や資源の保護あるいは地域教育や文化の向上など
より良い地域社会を創りあげるための、様々な活動に積極的に参加し
この地域社会全体への義務と責任を果たしていくことを
大切にします。



そして最後に、わたしたちは、以下の三つを心に刻み、どんなときも大切にして行動します。

- 1)自らの言動に対して「これは公正かつ道義にかなったものであるか」を常に問いかげ、
社会人として正々堂々と胸を張れる人間であることを誓います。
- 2)教育に携わる者の「誇り」と「信念」を持ち、常に「素直に喜び感動できる」人間であるよう努力します。
- 3)常に「謙虚な姿勢」を持ち、昨日よりは今日、今日よりは明日と、「日々成長し続ける」人間であるよう努力します。

公文教育研究会